

2024年2月13日

各位

会社名 ティーエスアルフレッサ株式会社

代表者名 代表取締役社長 高橋 卓詩

問合せ先 取締役 常務執行役員 澤井 伸治
管理本部長

(TEL: 082-501-0222)

「山口宇部センター」新設のお知らせ
～中国地方の地域医療へのさらなる貢献に向けて～

当社は、山口県宇部市において建設を進めておりました「山口宇部センター」を竣工し、5月7日より稼働いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 建設の趣旨

当社は、医療用医薬品、医療機器等の卸販売を主な事業として、中国地方全県で地域に密着した営業活動を展開し、医薬品等の安定供給という使命を担うとともに、「地域社会貢献を果たす経営」に努めております。

「山口宇部センター」は、山口県宇部市に位置し、厳格な温度管理等が求められるGDPガイドライン^{※1}に準拠した管理体制を構築いたします。また、対面検品を不要とした「パッケージ納品」^{※2}による医薬品配送にも対応いたします。さらには、72時間稼働する大型非常用電源や太陽光パネルの設置、館内のLED照明採用、EV車用充電装置の導入等、災害時の事業継続や環境へ配慮した持続可能なセンターを実現いたします。

本センターの稼働に伴い、当社の「宇部物流センター」、「山口営業部」、「宇部支店」、「山口機器試薬支店」、「山口SPD^{※3}センター」の事業を本センターに順次移転する予定です。これにより、必要な時に必要な場所へ医薬品等を直接お客様に納品できる効率的かつ迅速な配送体制を構築するとともに、医療用医薬品、医療機器、検査試薬、SPDの営業職の連携強化による顧客サービスの向上に取り組んでまいります。

当社は、本センターと広島県尾道市にて稼働中の尾道物流センターを中国地方における物流の中核拠点として活用することで、今後も地域医療に貢献してまいります。

※1 GDP (Good Distribution Practices) ガイドライン：2018年12月に厚生労働省より示された、医薬品の流通過程における品質保証を目的にした基本的な指針

※2 「パッケージ納品」：99.999%以上の高い精度で在庫された医薬品を専用のオリコンに梱包し、お客様へお届けするまでオリコン内の医薬品に誰も触れることのない納品システム

※3 SPD (Supply Processing & Distribution)：病院内物流の受託事業

2. 施設の概要

- (1) 名称：山口宇部センター
- (2) 所在地：山口県宇部市あすとぴあ三丁目4番15号
- (3) 敷地面積：31,563.92㎡(約9,548坪)
- (4) 建築面積：10,933.53㎡(約3,307坪)
- (5) 延床面積：19,647.07㎡(約5,943坪)
- (6) 構造：鉄骨造2階建
- (7) 保管品目：最大25,000品目

3. 設備投資額

総額60億円(土地、建物、設備、備品等)※4

※4 記載している数値は予定であり、変更になる可能性があります

4. センターの特徴

(1) アクセスの良いロケーション

山口県中心部までの交通アクセス至便な山陽自動車道「宇部インターチェンジ」の近くに位置し、山口県内全域への医薬品等の輸配送をカバーします。

(2) GDPガイドラインに準拠した厳格な温度管理と衛生管理

すべての入出荷口にドックシェルターや二重シャッターを設置することに加え、空調設備のバックアップ機能や防虫・防鼠対策などを整備し、GDPガイドラインに準拠した品質管理を実現します。

(3) 高サービス、高品質な医薬品配送

お客様への納品時に対面での検品作業が不要な「パッケージ納品」を拡充します。納品時の検品時間の削減により、お客様の業務効率の向上に貢献します。

(4) 万全のBCP対応

72時間稼働が可能な大型非常用電源を設置し、災害時においても継続的に医薬品等の安定供給ができる体制を整えます。なお、当社は2024年1月22日に山口県宇部市と「災害時における医薬品等調達に関する協定」を締結し、宇部市が行う災害時における医薬品等の調達に協力することとしております。

(5) 環境への配慮

屋上への太陽光パネルの設置や、館内でのLED照明の採用、およびEV車用充電装置の導入など、環境保全への取り組みを通じて社会への貢献を行います。

5. 稼働開始(予定)

2024年5月7日

以上

<「山口宇部センター」外観>

